

# 中建協会広報

発行所  
一般社団法人秋田中央建設業協会  
発行人

田中道

〒010-0951 秋田市山王4丁目3番7号  
TEL 018-862-7778  
akenkyo@akenkyo.or.jp

秋田中央建設業協会 検索

## 令和3年度(第74回)通常総会開催

一般社団法人秋田中央建設業協会の令和3年度第74回通常総会は、5月19日(水)午前11時から秋田キャスルホテル「矢留の間」において、51名(うち委任出席10名)が出席して行われました。



最初に、物故者に対する黙祷を捧げた後、加藤義光会長が挨拶に立ち、「防災や減災の意識が浸透して労働災害は以前よりも少なくなっているが、それでも建設業では年間約250名の方が亡くなっており、その4割が墜落・転倒によるものである。それを踏まえて我々も安全対策に充分配慮していかなければならない。今後の協会活動としては、中・長期的に安定した協会運営ができるよう、積極的に要望活動を行ってまいりたい。また、協会の先達が培ってきた英知や伝統を守りながら、互助の精神を持って新しいことにチャレンジしていかなければならない。なお一層の皆さんのご協力をお願いしたい」と述べました。

その後、議事に入り、  
報告事項1 令和2年度事業報告について

報告事項2 令和2年度公益目的支出計画実施報告書について

報告事項3 令和3年度事業計画及び収支予算について

議案第1号 令和2年度収支決算について

議案第2号 任期満了に伴う役員改選について

について審議した結果、全ての提出議案が満場一致で決裁承認されました。また、役員改選が行われ、次頁のとおり役員が選出されました。

なお、新型コロナウイルス感染症対策のため、今年度も総会後の懇親会は中止といたしました。



# 土木工事における「各モデル工事の発注方針」 及び「情報共有システムの活用」に ついての説明会開催

5月21日（金）午前10時から、協会3階大会議室において、土木工事における「各モデル工事の発注方針」及び「情報共有システムの活用」についての説明会を、秋田県建設部技術管理課積算管理班、鈴木一利班長並びに金野貴憲主査を招いて、当協会からは24名が出席し開催されました。



開催にあたり、鈴木班長から、「各モデル工事及び情報共有システムについて、令和3年度発注方針の周知を図りたい」との挨拶があり、引き続き金野

主査から内容についての詳細の説明が行われました。



「ICT活用モデル工事・簡易型ICT活用モデル工事」の取組を更に推進するため、建設部所管事業において、ICT土工については、一般土木A級に発注する土工量5,000㎡以上の場合、原則、発注者指定が適用されること、「週休二日制モデル工事」は、一般土木で予定価格4千万円以上（舗装は2千万円以上）の工事について発注者指定型で原則実施。「女性技術者登用モデル工事」は主に受注者希望型による運用とし、発注者指定型は各地域振興局において1件以上とする。

「IoT活用モデル工事」についても主に受注者希望型により運用することなどの方針が説明されました。

また、「情報共有システム」の活用については、予定価格4千万円以上（舗装は2千万円以上）の工事について利用が原則とのことでした。

最後に、週休2日制の詳細な説明や、これらモデル工事の評定点に関する質疑応答が行われ、閉会しました。

## 任期満了により 通常総会で役員改選される

会 長	加藤 義光	理 事	石塚 英公
副会長	齊藤 豊隆	理 事	伊藤 仁
副会長	長谷川 尚造	理 事	珍田 伸一
理 事	三浦 稔	理 事	菅原 孝次郎
理 事	沢木 則明	理 事	伊藤 久嗣
理 事	平野 久貴	理 事	板橋 広光
理 事	菅原 廣悦	監 事	加藤 政之
理 事	渡辺 憲介	監 事	加賀屋 篤
理 事	伊藤 満	監 事	佐々木 茂美
理 事	佐々木 創太	相談役	加藤 憲成
理 事	小南 淳	顧問	菅原 三朗
理 事	加藤 正己		

### 藤澤正義氏 褒章受章

令和3年春の褒章受章者が発表され、秋田県中小企業団体中央会会長の藤澤正義氏(70)（千代田興業(株)社長・当協会準会員）に中小企業振興に寄与した功績で旭日小綬章が贈られました。

# 国道101号 浜間口バイパス 【男鹿市男鹿中】



## 秋田地域振興局 建設部

本路線は、青森市～青森県鱒ヶ沢町～秋田県能代市～男鹿市～秋田市と日本海側の都市を結ぶ重要な県際国道であり、入道崎や寒風山など、男鹿国定公園内の観光資源へのアクセス道路でさらに、第二次緊急輸送道路として防災上重要な路線に指定されています。

しかし、男鹿市男鹿中浜間口地内は道路幅員が狭いため、当該道路に求められている機能が十分に果たされていない状況であります。

このため、線形改良及び幅員の確保により、車輛等通行の安全性向上と当該地域へのアクセス性向上による観光産業支援、通過交通排除による沿線住民の安全性向上を目的として、平成27年度から事業に着手し、令和8年度の完成を目指しています。

令和3年度は、熊ノ堂橋の上部工（PCポストテンション方式単純バルブT桁）の架設と道路本体盛土工を実施する予定です。



現道の状況



現道の状況(集落内)

事業期間：平成27年度～令和8年度（予定）

延長：L=2,770m 幅員：W=6.0(8.5)m 道路規格：第3種第3級

設計速度：60km/h 計画交通量：1,200台/日

総事業費：約19億円（予定）

R1事業概要：用地買収、橋梁下部工（A2橋台）

R2事業概要：用地買収、橋梁下部工（A1橋台）

R3事業概要：橋梁上部工、道路本体築造

R4以降予定：道路本体築造、舗装工



# 令和3年度全国安全週間

## 7月1日～7日(準備期間6月1日～30日)

全国安全週間は、本年度も厚生労働省及び中央労働災害防止協会が主唱し、建設業労働災害防止協会その他関係団体の協賛の下に、令和3年度全国安全週間実施要綱に基づき、7月1日から7日までを本週間、6月1日から30日までを準備期間として、

### 「持続可能な安全管理 未来へつなぐ安全職場」

をスローガンとして展開されます。



建設業における労働災害は長期的に減少を続けており、令和2年の死亡災害は3年連続で過去最少となる見込みで、管内でも休業4日以上死傷災害は前年を下回りました。しかしながら高齢者の増加に伴い転倒災害や「動作の反動・無理な動作」による労働災害が年々増加しています。また、新型コロナウイルス感染症の罹患による労働災害も増えています。

一方、従前より懸念されている技術者・技能労働者の不足、長時間労働やメンタル不調による健康リスクの増加のほか、受け入れ拡大が見込まれる外国人労働者への対応など、就業構造の変化及び働き方の多様化も踏まえ、これらの課題解決に向けた取組を一層進める必要があります。

会員企業におかれては、「建設業労働安全衛生マネジメントシステム（コスモス）」及び建設現場におけるメンタルヘルス対策等を推進すると共に、墜落・転落災害の防止対策、職長・安全衛生責任者能力向上教育等の安全衛生教育、熱中症の防止に向けた「STOP! 熱中症 クールワークキャンペーン」等に積極的に取り組まれますようお願いいたします。

#### 【準備期間の実施事項】（6/1～6/30）

1. 経営トップ等による現場安全点検の実施
2. リスクアセスメントの確実な実施
3. コスモスの導入と実施
4. 墜落・転落災害の防止
5. 建設機械・クレーン等災害の防止
6. 倒壊・崩壊災害の防止
7. 転倒災害の防止
8. 交通労働災害の防止
9. 不安全行動による災害の防止
10. 安全衛生教育の実施
11. 職業性疾病の防止
12. 熱中症の予防
13. 健康管理の推進
14. 現場におけるメンタルヘルス対策の推進

#### 【本週間の実施事項】（7/1～7/7）

1. 安全意識の高揚
2. 安全活動の実施
3. 安全衛生教育・訓練等の実施
4. 「安全の日」の設定のほか、本週間にふさわしい行事の実施

